

平成30年度 小牧市教育委員会基本方針

1 小牧市教育委員会基本方針の位置付け

小牧市教育委員会は、本市の「第6次小牧市総合計画新基本計画」の教育分野をさらに具体化するとともに、「小牧市教育大綱」を踏まえ、中長期的かつ総合的な展望に立って計画的に教育課題の解決を図るため、「小牧市教育振興基本計画」（以下、「基本計画」と言う。）を平成29年3月に策定しました。

基本計画は、本市の教育施策を総合的かつ計画的に推進するため、本市の教育が目指す基本的な方向や今後推進すべき具体的施策を明らかにするものであり、今後10年間の方向性を示したものです。

基本計画の推進にあたっては、施策等の評価、検証を毎年度実施し、PDCAサイクルにより必要に応じて改善を図るため、小牧市教育委員会基本方針を立案する体制としています。

よって、小牧市教育委員会基本方針は、基本計画で示した施策のうち、評価結果を踏まえた改善や見直し、さらには当該年度の予算に即した喫緊の課題に対する取組みや適時適切な取組みを当該年度の「重点施策」として位置付けます。

2 平成30年度の重点施策

基本計画を推進するため、平成30年度における重点施策を以下のとおり定め、本年度の基本方針とする。

基本目標1 時代を切り拓く力を育む「学び」の充実

- ④ 人と関わり合いながら学ぶ「学び合う学び」を進め、様々な課題に関心を持って主体的に学ぶことで、確かな学力を育みます。
- ④ 理数教育や国際教育などを充実し、未来にはばたく人材を育成するとともに、特別支援教育や外国人児童生徒への教育を推進します。

具体的な取組	内容	担当課
「学び合う学び」を支える教員研修の実施（施策1）	「学び合う学び」を土台に据えた学級・授業づくりに役立つ実技講座や児童・生徒理解、指導にかかわる研修講座の充実を図ります。	学校教育課
特色ある学校づくり推進事業の実施（施策2）	各小中学校が創意工夫し、より一層地域の特性や人材を活かした特色ある教育活動を進められるよう、現在の補助金を見直し、コミュニティ・スクールと一体的に推進できる交付金制度のあり方を検討します。	学校教育課

コミュニティ・スクールの導入（施策２）	小牧市の特性を活かしたコミュニティ・スクールを推進していくため、全小中学校に学校運営協議会を設置します。	学校教育課
「夢の教室」の実施（施策３）	J F Aとの協定に基づき、「夢の教室」を市内の小学校（５年生全クラス）で実施します。	学校教育課
小中学校における英語教育の推進（施策３）	学習指導要領の改訂に合わせ、外国人専任指導講師（A L T）の増員や独自カリキュラムの活用などを行い、小中学校の英語教育の充実を図ります。	学校教育課
必要に応じた支援員、介助員の配置（施策４）	特別支援学級に在籍する児童生徒をよりきめ細やかに支援するため、支援員（学校生活サポーター）を配置します。	学校教育課
日本語初期教室の実施（施策５）	小牧市内の小中学校に転入する日本語が分からない児童生徒に対し、日本語の日常会話や日本の学校のきまりを指導する日本語初期教室に、室長を新たに配置し、体制を充実します。	学校教育課

基本目標２ 認め合い高め合う豊かな心と、健やかな体の育成

- ④ 国や郷土を愛する心と自己肯定感を養うとともに、いのちを大切に作る心や他者を思いやる心を育みます。
- ④ 体力の向上や学校給食を通じた食育、読書活動の推進など、心身の健全な成長を支えます。

具体的な取組	内容	担当課
児童生徒の体験活動の充実（施策６）	中学生の視点から小牧のまちづくりを考えてもらい、市政を学ぶ体験の場として「こども議会」を開催します。	学校教育課
小中学生にすすめるブックリストの活用（施策８）	児童生徒が読書記録を蓄積し、活用できる「読書ノート」（仮）（小学生向け）の素案を作成しました。引き続き、その活用方法や中学生向けの素案の検討等について、学校をはじめ関係課と協議します。	図書館

栄養教諭・学校栄養職員等による食育・給食指導 (施策10)	望ましい食習慣や食生活を習得させる食育指導の充実を図るとともに、給食に地元農産物を取り入れ、地元農業や郷土料理等、食に対する理解を深めます。	学校給食課
----------------------------------	--	-------

基本目標3 未来につなげる、安全で充実した教育環境づくり

- ④ 放課後などの学習支援や経済的な支援を充実するなど、一人ひとりのこどもの学びを保障し、教育の質を高めます。
- ④ 学校施設の整備など、すべてのこどもが安心して学ぶことができる環境を整えます。

具体的な取組	内容	担当課
経済的理由で進学が困難な生徒への経済支援 (施策11)	市内中学校を卒業した、経済的に恵まれない生徒が高校へ進学等する場合に支給する育英資金を拡充します。	学校教育課
経済的に困窮している児童生徒の保護者に対する費用の助成・就学援助 (施策11)	経済的な理由で就学が困難な市内小中学校に通う児童生徒の保護者に対する就学援助費のうち「新入学学用品費」について、支給時期を前倒しし、保護者の負担感を軽減します。	学校教育課
児童生徒に対する学習支援の実施(施策11)	「駒来塾」を開設し、学習意欲があっても学力の定着が進んでいない中学生を対象に、教員OBなどの協力を得て、学習支援活動に取り組みます。 平成30年度は、実施中の2地区(東部・北里)に、新たに1地区(味岡)を加えた3地区で実施します。	こども政策課
こども夢・チャレンジ事業の展開(施策13)	こどもの将来等を育むきっかけとして様々な事業を展開します。 ①学習支援事業「駒来塾」 ②プログラミング講座 ③市内産業見学会開催事業 ④コマキッズドリームバスギャラリー ⑤夢にチャレンジ助成金支給事業 ⑥大学生等海外留学奨学金支給事業 ⑦こども夢サポーター制度	こども政策課
こども未来創造センター(仮称)の設置 (施策13)	教職員への研修や支援・指導の拠点となる教育センターの設置について検討を進めます。	学校教育課

I C T機器の整備・充実 (施策14)	学校のニーズに即したI C T機器の導入、デジタル教科書の更新、進化するI C T環境に対応したネットワーク環境の整備を行います。また、I C T教育を総合的に推進するため、「小牧市教育情報化推進計画」を策定します。	教育総務課
学校施設の改修 (施策14)	老朽化・狭隘化が進んでいる小牧南小学校の改築に向け計画的に事業を進めます。平成29年度に策定した基本構想・基本計画に基づき、平成30年度は、基本設計に着手します。また、基本設計に必要な現況測量等の調査を行います。	教育総務課

基本目標4 家庭・地域・学校との連携による教育の推進

- ④ 家庭教育・地域教育を大切にし、地域ぐるみでの教育、子育て、青少年健全育成活動を展開します。
- ④ 家庭・地域・学校の連携を強化し、学校運営への多様な人材の参画・協力を推進します。

具体的な取組	内容	担当課
教育・保育の質の向上 (施策16)	第一幼稚園の公開保育、小牧市幼年期教育連携推進会議を通じ幼稚園、認定こども園、保育園、小中学校の連携を推進し、幼児期からの発達段階に配慮した心の教育の充実に努めます。	保育課
家庭教育講演会の開催 (施策17)	より多くの市民が、子育てに関心を持ち、家庭教育の重要性を学ぶ機会を提供するため、家庭教育講演会を開催します。	生涯学習課
放課後子ども総合プラン (施策18)	すべてのこどもが、放課後子ども教室の活動プログラムに参加できる仕組みづくりを引き続き推進します。	こども政策課
コミュニティ・スクールの導入(再掲)(施策19)	小牧市の特性を活かしたコミュニティ・スクールを推進していくため、全小中学校に学校運営協議会を設置します。	学校教育課

基本目標5 豊かな人生を支える、生涯学べるまちづくり

- ④ 誰もが、学びたいときに学びたいことを学ぶことができる環境を整備します。
- ④ 自らの学びを社会や地域に還元し役立てるようにするとともに、互いに学びあい育ちあう関係を創出します。

具体的な取組	内容	担当課
市民講座の実施 (施策21)	市民自らが講座を企画し運営する「市民企画講座」、大学連携講座や短期講座などの地域課題や社会問題について学び・考える講座を各公民館主催で開催します。	生涯学習課 味岡・東部・北里 市民センター
男女共同参画講座の実施 (施策21)	ワーク・ライフ・バランスやDV、LGBTなど男女共同参画に関する基本的な知識を学ぶ講座をはじめ、出産や育児を期に離職した女性に対する再就職支援や男性を対象にした家庭生活への参画を促すための講座を実施します。	まなび創造館
団体等による自主展示・発表活動への支援 (施策22)	利用団体等による展示や公演等の発表活動を支援するため、展示スペース等の利用を支援します。また、市広報やホームページ、フェイスブックにより、発表活動などをPRします。	生涯学習課 味岡・東部・北里 市民センター
新図書館の建設 (施策23)	新小牧市立図書館建設審議会から提出された答申を尊重する形で平成29年6月に策定した「新小牧市立図書館の建設方針」に則り、平成32年度末での新図書館の開館を目指し計画的に事業を進めます。 また、平成30年度に行う実施設計においては、ワークショップ等を開催して市民の意向を設計に反映します。	新図書館 建設推進室
SNSを活用した生涯学習情報の提供(施策24)	フェイスブックやホームページに市民企画講座などの講座情報やロビー公演、サークル紹介等の情報を掲載し、積極的に情報発信します。	生涯学習課 味岡・東部・北里 市民センター

基本目標6 誰もが参加できるスポーツ活動の展開

- ④ 運動やスポーツを通して、あらゆる活動の土台となる基礎体力を育みます。
- ④ 生涯にわたって誰もがスポーツを楽しむことができる機会や環境をつくりま
す。

具体的な取組	内容	担当課
スマートフォン用アプリ「alko」を活用したバーチャルウォーキング大会の開催（施策25）	健康づくりの一環として、生活の中にスポーツを取り入れるきっかけとなるように、スマートフォン用アプリ「alko」を活用したバーチャルウォーキング大会を開催します。 合わせて、効果的なウォーキングの情報提供やノルディックウォークの講習会を行うことにより、スポーツ活動の促進を目指します。	スポーツ推進課
親子スポーツ教室の開催（施策26）	こどもがスポーツを始める機会づくりの一環として開催します。親と子がふれあってスポーツの楽しさに触れることなどにより、親子のスポーツを通じた健康づくりの機会を提供します。	スポーツ推進課 まなび創造館
パークアリーナ小牧を活用した大会の開催（施策27）	平成30年8月1日（水）～7日（火）に、パークアリーナ小牧を会場として、全国高等学校総合体育大会女子バスケットボール競技大会を開催します。	スポーツ推進課
こども夢・チャレンジカップU-12事業の実施（施策27）	海外有名クラブによるジュニアサッカースクールを招へいし、5月にスポーツ公園サッカーグラウンドで交流大会を開催します。	スポーツ推進課

基本目標7 市民がともにつくる文化・芸術の振興

- ④ 文化・芸術の鑑賞機会を充実するとともに、市民の創作活動を支援します。
- ④ 市民と様々な文化団体との連携により、文化振興活動を支える体制を整備します。

具体的な取組	内容	担当課
中部フィルハーモニー交響楽団の活動支援 (施策31)	事務所スペースの提供などの運営支援のほか、親子向けオーケストラコンサートやサンクスコンサートなど様々な演奏会も共催事業として支援します。	生涯学習課
文化財団の活動支援 (施策32)	文化財団が、文化振興の推進、文化芸術の普及のため、質が高く柔軟な事業企画や、効率的・効果的な運営ができるよう支援を行います。	生涯学習課

基本目標8 郷土の歴史・文化の保存と次世代への継承

- ④ 郷土の歴史・文化に親しむことで、郷土への愛着や誇りを醸成します。
- ④ 市民や関係機関と行政が協力し、郷土の歴史・文化遺産の保護、活用を進め、次世代へ継承します。

具体的な取組	内容	担当課
主郭地区整備基本計画の推進 (施策35)	史跡小牧山主郭地区第1次発掘調査を実施します。	小牧山課
資料の展示や体験・講座による啓発 (施策35)	史跡小牧山の情報を発信する施設として、小牧山の南東の麓に(仮称)史跡センターを建設します。	小牧山課